

信大経営大学院がシンポ



信大経営大学院は1日、こ
として設立10年を迎えたのを
記念したシンポジウムを長野
市若里の同大学院で開いた。
卒業生や現役学生ら約80人が
参加。県内外の企業経営者ら
7人によるパネル討論を通
じ、世界で活躍する人材の育
成法などを考えた。写真。
パネル討論は、無線装置製
造などの長野日本無線（長野

市）やキノコ生産のホクト
（同）の役員らが「企業競争
力と人材養成の課題」と題し
て意見を交わした。新興国メ
ーカーが台頭する中、大手家
電メーカーの元役員は「圧倒
的多数が低価格品を求める海
外で、品質を求めてきた日本
企業が生き残る策を考えなけ
ればならない」。ホクトの水
野雅義社長は「国内で培った
ノウハウを守りながら、海外
で応用できる人を育てたい」
と述べた。

同大学院は社会人らが実践
的な経営学を学ぶ場として2
003年4月に発足し、こと
し9月までの卒業生は計85
人。鈴木智弘大学院長は「社
会のニーズに合った経営感覚
を持つ人材を輩出していきな
い」と話していた。

2012年（平成24年）12月2日 日曜日